

(知 A 知 B 徳 C 徳 D 体 E) ユニット型研修 授業シート ver.3

(1) 年 (3・4) 組 (保健体育) 科 指導案 授業者 (村田 健太郎) (1) 回目

■ 授業者記入欄 授業前日までに記入し、全職員に配布してください。

授業日時	令和 2 年 11 月 19 日 (木) 4 校時	会場	武道場
単元名・題材名	器械運動 (マット運動)		

単元計画 (全8時間)

次	学習内容・活動	主眼 (時数・本時○/○)
1	技能を身に付ける	技能を身に付け、完成度を高めることができる。(4)
2	身に付けた技を組み合わせる	連続技を身に付けることができる。(2・本時2/2)
3	発表・改善する	仲間の発表を評価し、改善することができる。(2)

本時案

本時の主眼・ 学習内容	・技の開始姿勢や終末姿勢、組み合わせの動きや手の着き方などの条件を変えた技を行うことを通して連続技を身につけることができる。
研修テーマと の関わり	・条件を変えた技について考え、仲間同士で互いに伝え合い、主体的・対話的な授業を促す。 ・小学校で学習した技の完成度を高めることで、中学校では技を組み合わせで演技する。

授業の流れ

分	学習内容・活動、発問、板書計画、予想される生徒の反応、手立て・支援、学習評価等
0	1 準備体操、ウォームアップを行う。
5	・前転、開脚前転、後転、開脚後転の練習を行う。
10	2 課題の把握 よりよい連続技を完成させよう
15	・開始姿勢や終末姿勢、組み合わせの動きや手の着き方などの条件を変えて回る、回転する方法を知る ・技の前や後ろに動きを組み合わせで行う映像を見て、より良い連続技のイメージをつける
20	・前時で決めた3つの技の条件を変え、連続技につなげることを知る
25	3 連続技の練習 (グループ練習)
30	・3つの技の条件を変え、連続技の練習をする
35	・条件を変えた技について助言し合い、互いに連続技の向上に努める ・どう変化をつけたらより良い連続技が完成するのだろうか？ ・技の構成を考え直す生徒が出てくる ・どんな変化をつけたらよいか分からない生徒には、映像やステップアップを参考にさせる
40	・見本になる生徒がいたら演技させ、他の生徒の参考にさせる
45	5 振り返り ・本時の学習についてのまとめと振り返りを行う

主体的・対話的で深い学びの視点に立った、9年間のつながりのある授業の実践

～質の高い学びを実現し、自己を変容させる生徒の育成～

■ 参観者記入欄 参観者氏名（ ）

段階	観 点	そう思う 思わない			
導 入	授業前段で適切な目標（めあて）が示されている	4	3	2	1
	興味関心や知的好奇心を高める手だてがある	4	3	2	1
	見通しをもって取り組むことができる手だてがある	4	3	2	1
展 開	既習の知識・技能とのつながりが感じられる場面がある	4	3	2	1
	学習活動を活性化させるための手だてがある	4	3	2	1
	対話等の関わりあい・学び合いの場面が適切に設定されている	4	3	2	1
	学習活動を通して生徒の思考や表現に変容が見られる	4	3	2	1
終 末	学習したことが一目でわかる板書・工夫がなされている	4	3	2	1
	学習したことを振り返って定着させ、達成感を持たせている	4	3	2	1
生 徒	準備・時間・授業規律への意識の高さがある	4	3	2	1
	積極的に活動に取り組み、自己を伸ばそうとする姿勢が見られる	4	3	2	1
	仲間と支え合う雰囲気が感じられる	4	3	2	1
コメント欄 （よかった点、課題、建設的な提案、自分の授業に活かそうなこと、キラリと光った生徒の発言など）					

ユニット研修お疲れ様でした。このシートは授業者へ労いの言葉を添えてお渡しください。また、コピーを1部研修主任にご提出ください。

(知 A 知 B 徳 C **徳 D** 体 E) **ユニット型研修 授業シート ver.3**

(2) 年 (2) 組 (数学) 科 指導案 授業者 (前原 大地) (4) 回目

■ 授業者記入欄 授業前日までに記入し、全職員に配布してください。

授業日時	令和 2 年 11 月 19 日 (木) 4 校時	会場	2 年 2 組 教室
単元名・題材名	平行と合同 多角形の角 「くさび形のもつ角の性質を考えよう」		

単元計画 (全 11 時間)

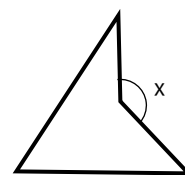
次	学習内容・活動	主眼 (時数・本時○/○)
1	角と平行線	観察・操作や実験を通して、対頂角の性質、平行線の性質、平行線になる条件について理解することができる。 (3・本時 3/3)
2	多角形の角	三角形の内角・外角の性質について理解し、多角形の内角の和や外角の和を求めることができる。 (5)
3	三角形の合同	合同な図形の性質、三角形の合同条件について理解し、簡単な場合に三角形の合同条件を利用することができる。 (3)

本時案

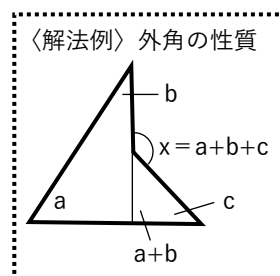
本時の主眼 学習内容	既習の角の性質、三角形や多角形の内角・外角の性質を利用することで、くさび形がもつ角の性質をいろいろな方法で考えることができる。
研修テーマ との関わり	・小学校から学習している図形に関する様々な知識を利用して、多様な視点から課題に取り組み、解決することができる。 ・お互いの考え方を伝えあう活動を通して、仲間のいろいろな考え方や解き方にふれ、解答に至るまでの道が1つではなく、図形の捉え方によって多数あることのおもしろさを実感し、数学への意欲が高まることを期待する。

授業の流れ

分	学習内容・活動、発問、板書計画、予想される生徒の反応、手立て・支援、学習評価等
0	1 前時までの復習
5	・角の性質、多角形の性質などについて復習の問題に取り組む。
10	・既習事項 (対頂角、平行線の同位角・錯角、三角形の内角・外角) を確認する。
15	2 課題の把握 学習したことをもとにして、くさび形の$\angle x$の大きさを求めてみよう ・$\angle x$の大きさを予想する。
20	・$\angle x$の大きさを求める方法を考える。 ・考える楽しさを味わわせるため、個人でしっかり考える時間を与える。
25	・どうしてよいかわからない生徒にはヒントを提示する。 ・既習事項を参考に、様々な解き方を考えるように促す。
30	・お互いの考え方を伝えあい、仲間のいろいろな考え方や解き方にふれる。
35	・多様な考え方を全体で交流する。(拡大図を利用)
40	3 振り返り ・類題に取り組む。くさび形の角度を変えて、$\angle x$の大きさを求める。 ・わかっている3つの角の大きさと、求めた$\angle x$の大きさの間にはどんな関係があるか考える
45	・本時の学習についてのまとめと振り返りを行う



くさび形



主体的・対話的で深い学びの視点に立った、9年間のつながりのある授業の実践

～質の高い学びを実現し、自己を変容させる生徒の育成～

■ 参観者記入欄 参観者氏名（ ）

段階	観 点	そう思う	思わない
導 入	授業前段で適切な目標（めあて）が示されている	4	3 2 1
	興味関心や知的好奇心を高める手だてがある	4	3 2 1
	見通しをもって取り組むことができる手だてがある	4	3 2 1
展 開	既習の知識・技能とのつながりが感じられる場面がある	4	3 2 1
	学習活動を活性化させるための手だてがある	4	3 2 1
	対話等の関わりあい・学び合いの場面が適切に設定されている	4	3 2 1
	学習活動を通して生徒の思考や表現に変容が見られる	4	3 2 1
終 末	学習したことが一目でわかる板書・工夫がなされている	4	3 2 1
	学習したことを振り返って定着させ、達成感を持たせている	4	3 2 1
生 徒	準備・時間・授業規律への意識の高さがある	4	3 2 1
	積極的に活動に取り組み、自己を伸ばそうとする姿勢が見られる	4	3 2 1
	仲間と支え合う雰囲気が感じられる	4	3 2 1
コメント欄 （よかった点、課題、建設的な提案、自分の授業に活かそうな事、キラリと光った生徒の発言など）			

ユニット研修お疲れ様でした。このシートは授業者へ労いの言葉を添えてお渡しください。また、コピーを1部研修主任にご提出ください。

(知 A 知 B 徳 C 徳 D 体 E) **ユニット型研修 授業シート ver.3**

(3) 年 (2) 組 (英語) 科 指導案 授業者 (奥谷由佳) (2) 回目

■ 授業者記入欄 授業前日までに記入し、全職員に配布してください。

授業日時	令和 2 年 11 月 19 日 (木) 4 校時	会場	学習室 2
単元名・題材名	理由をつけて、自分の考えを伝えよう What is the most important thing to you?		

単元計画 (全 1 時間)

次	学習内容・活動	主眼 (時数・本時〇/〇)
1	ライティング・スピーキング活動 「自分にとって最も大切なものは何?」	自分にとって大切なものを、理由をつけて英語で伝えあうことができる。(1・本時 1/1)

本時案

本時の主眼・学習内容	自分の考えを、英語を用いて意欲的に伝えようとするができる。 自分にとって大切なものを、理由をつけて英語で表現することができる。
研修テーマとの関わり	対話を通して、お互いの表現の幅が広がったり、表現の使い方の理解が深まった りすることを期待する。

授業の流れ

分	学習内容・活動、発問、板書計画、予想される生徒の反応、手立て・支援、学習評価等
0	1 あいさつ
5	2 Today's GOAL What is the most important thing to you? 理由をつけて自分の考えを伝えよう。 ・教師のデモンストレーションを見て、発表の仕方を視覚的に理解する。
10	3 ライティング活動 (表現を考える①)
15	・自分にとって一番大切なものは何か、またその理由を考え、まとめる。
20	
25	4 スピーキング活動 (表現を考える②)
30	・友だちと意見を交わす。
35	・ <u>多くの人と交流を繰り返し、様々な表現方法にふれ、自らの発表に取り入れる機会をつくる</u> ・自分の言いたいことを知っている語彙で伝えられないか、工夫する。
40	5 発表 ・良かった発表を、全体の前で披露してもらう。 また、良い原稿をいくつか写真に撮り、黒板に写して全体に共有する。 ・最初の発表からどう変化したかわかるものがあれば、それを伝える。
45	ふり回り・あいさつ ・本時の学習について、シートを用いて振り返りを行う。 ・ふりかえりシートに、生徒の変容が見られる記述があれば、全体に発表してもらう。

主体的・対話的で深い学びの視点に立った、9年間のつながりのある授業の実践

～質の高い学びを実現し、自己を変容させる生徒の育成～

■ 参観者記入欄 参観者氏名（ ）

段階	観 点	そう思う 思わない			
導 入	授業前段で適切な目標（めあて）が示されている	4	3	2	1
	興味関心や知的好奇心を高める手だてがある	4	3	2	1
	見通しをもって取り組むことができる手だてがある	4	3	2	1
展 開	既習の知識・技能とのつながりが感じられる場面がある	4	3	2	1
	学習活動を活性化させるための手だてがある	4	3	2	1
	対話等の関わりあい・学び合いの場面が適切に設定されている	4	3	2	1
	学習活動を通して生徒の思考や表現に変容が見られる	4	3	2	1
終 末	学習したことが一目でわかる板書・工夫がなされている	4	3	2	1
	学習したことを振り返って定着させ、達成感を持たせている	4	3	2	1
生 徒	準備・時間・授業規律への意識の高さがある	4	3	2	1
	積極的に活動に取り組み、自己を伸ばそうとする姿勢が見られる	4	3	2	1
	仲間と支え合う雰囲気が感じられる	4	3	2	1
コメント欄 （よかった点、課題、建設的な提案、自分の授業に活かそうなこと、キラリと光った生徒の発言など）					

ユニット研修お疲れ様でした。このシートは授業者へ労いの言葉を添えてお渡しください。また、コピーを1部研修主任にご提出ください。